

## 16. 平成14年度 湘南数学セミナー・現代数学入門市民講座（開催報告）

2002年12月22日14時から23日13時まで湘南国際村センターにおいて、第8回湘南数学セミナー - 高校生のための現代数学 - を開催しました。講師は名古屋大学大学院多元数理科学研究科の宇沢達氏で、「線路が続いていく先には？ - 射影幾何入門」というテーマのもとに、1泊2日のセミナー合宿を行いました。全国から24人の中学生、高校生が集まり、宇沢氏の講演、夜の自由討論、再び講演、ささやかな打ち上げ昼食会と続きました。内容は射影幾何の導入とその応用としての数え上げの幾何学の紹介で、具体的な問題、「空間にある4本の直線と交わる直線の数を数えよ。（答えは2本）」と「平面内の5つの2次曲線と接する2次曲線の数を求めよ。（答えは3264個）」を解説するものでした。参加者たちの感想はおもしろくて難しかったというものが多く、講師のゆったりとした口調の熱心な話し方に感銘を受けたようでした。

ひき続き、23日14時より一般市民対象の現代数学入門市民講座を開きました。講師は同じく宇沢氏で、数学は言語か？というテーマの

講演を行いました。数の感覚は生まれながらのものである。ということから始め、自然現象を記述する言語として、数学はどう発展してきたか、ガリレオ、ニュートン、ファラデー、マックスウェルについて述べ、さらにその先の姿として、3次元双曲空間のアニメ画像、新しい分野として、生物の形態の数学モデル等を紹介しました。講演後、ほとんど満席の聴衆の中から、多数の活発な質問が出て、ていねいにひとつひとつ対応されていた講師の姿が印象的でした。

2日間という長時間にわたり、広い範囲の話題を取りあげた講演を準備し、行ってくれた講師のご尽力に深く感謝申し上げます。

（湘南数学セミナー担当 川崎徹郎記）